
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」第 81 号(2020. 2. 10)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 81 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、地域ぐるみで生態系保全活動に力を入れて取り組んでいる組織と、活動範囲内で栽培されたもち米で餅つき大会を行うことで地域住民間の交流を促進している組織を紹介します。

事務局からは、活動組織の代表者インタビュー、イベント出展のお知らせについて紹介します。

--- 第 81 号の目次 -----

1. 活動組織の紹介

☆ 黒^{くろ}淵^{ぶち} 農地と水を守る会 (広島県 世^せ羅^ら 町) ☆

☆ 三^み重^え 保全会 (大分県 豊^{ぶん}後^ご高^た田^だ 市) ☆

2. 活動組織の代表者インタビュー

☆ 布^ふ里^り 田^た中^{なか} の地域資源を保全する会 (埼玉県 秩^ち父^ち市) ☆

3. 「コープみらいフェスタ きやっせ物産展 2020」に出展します!

(編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

～ 黒^{くろ}淵^{ぶち}農地と水を守る会(広島県 世^せ羅^ら町)～ ■

～地区概要～

広島県中東部に位置し、黒淵川の最上流部にある山沿いに細長く開けた山間農村地帯を拠点に活動。

活動範囲は、田 51.3ha、畑 1.4ha、水路 18.8km、農道 5.9km。

～主な取組～

- ◎ 本組織では、共同活動を地域全体で取り組むことの大切さについての理解や意思統一を図るとともに、農産物生産と環境への配慮のバランスをとりながら活動を行っています。
- ◎ 生物多様性保全に資する活動として、環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠA類に指定されているヒョウモンモドキの保護活動に取り組んでいます。専門家の指導のもと、生息地の適正な草刈りや吸蜜用のノアザミの植栽、産卵調査等の管理を行っています。
- ◎ また、都市と農村の子どもたちの交流活動として、他団体とともに「農業体験ふれあい祭り」を開催し、田植えや稲刈り体験、生き物調査等を行っています。子どもたちにのびのびと体験をしてもらうことで、自然と触れ合う喜びを感じてもらえるように工夫しています。
- ◎ 今後は、ヒョウモンモドキの保護活動の継続だけでなく情報発信を行うことで、地域全体や近隣集落の協力を得て活動を行うなど幅広く展開していきながら、自然環境保全活動への理解と農業農村の役割について子どもたちに伝えていきたいと思えます。



希少種生息地の草刈り



吸蜜用のノアザミ植栽



ヒョウモンモドキ



農業体験ふれあい祭り

■ 1. 活動組織の活動紹介(2)

～ 三重^{みえ} 保全会(大分県 豊後高田^{ぶんごたかた} 市)～ ■

～地区概要～

大分県豊後高田市の北部に位置する旧香々^{かかち}地 町内の山間部の集落で、中間農業地域の水田地帯を拠点に活動。

活動範囲は、田 55.5ha、畑 4.16ha、水路 23.3km、農道 10.5km、ため池 1箇所。

～主な取組～

- ◎本組織は、地区内で既に活動していた2組織と、事務に係る人材が独自に確保できなかった3集落が合併し設立された組織です。
- ◎地域住民との交流では、活動エリア内の農地でもち米の栽培を行い、地区の老人会や子ども会を中心に餅つき大会を行っています。地区の農業に少しでも興味を持ってもらうため、子ども達に食の大切さを伝えています。
- ◎また、豊後高田市の特産であるそばを遊休農地に栽培して有効利用を図っています。そばを使った新たな商品を開発することで、地域の魅力を地域内外の人に向けて発信し、多くの人を呼び込みたいと考えています。
- ◎さらに、生活環境保全活動として、地区内のゴミ拾いを行っています。地域の自治会や子ども会など多くの住民が参加し、地域全体の景観を保全していくことに対する意識が向上しました。
- ◎今後は、地区全体の問題である高齢化・過疎化による人手不足の問題に対して地区全体で取り組んでいく為の体制づくりを進めるとともに、地域内外の人との交流を通じた地域の活性化を図っていきます。



水路周辺の草刈り



餅つき大会



ゴミ拾いの様子



検討会の様子

【三重保全会 代表 阿部 輝之】

■2. 活動組織の代表者インタビュー

ふりたなか
～ 布里 田中 の地域資源を保全する会 (埼玉県 秩父 市) ～ ■

組織の概要

埼玉県北西部に位置し、荒川の支流である一級河川吉田川の右岸に位置する丘陵地帯を拠点に活動。活動範囲は田 2.1ha、畑 10.9ha。対象施設は水路 1.3km、農道 2.5km、ため池 1 箇所。

平成 19 年度の農地・水・環境保全向上対策の制度開始時から共同活動に取り組んでいる。

～インタビュー～

Q： 2代目の会長をやられているとのことでしたが、きっかけはあったのでしょうか。

A： 圃場整備事業を契機に地域の結束が高まり、協力して花を植えたり、法面を補修したりといった組織の土台となる地域の人間関係の形成が進みました。そのような中、平成 19 年に農地・水・環境保全向上対策の制度開始とともに組織を設立し、設立時から副委員長を務めていましたが、前代表がご高齢となり、引退後成り行きもあります。みなさまの了承の上代表になりました。



布里田中の地域資源を保全する会
代表 彦久保利平氏（左側）
布里田中ハウネンエビを守る会
会長 岸良雄氏（右側）

Q： 組織を運営する中で苦労したことはありますか。

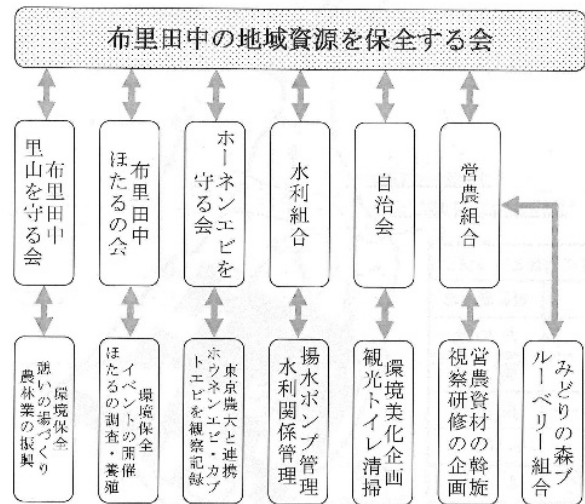
A： 私達の会は意見の言いやすい雰囲気があり、みなさんの意見を取り入れて運営しているのであまり苦労はありません。おかげさまでこの地域はみなさんの理解もあり、活動は全戸参加で実施しているため、非農家の参加率が低いと言った悩みはありません。

Q： 代表者として会を運営するにあたり、心がけていることや工夫している点はありますか。

A： 地域の和を大切にしています。誰でも意見のいいやすい雰囲気を大事にし、若い人の意見も取り入れ、良い提案や意見があれば積極的に取り

組むようにしています。

また、コミュニケーションが大事だと考えているのでなるべく人の集まる機会や意見を聞く機会が多くなるよう、活動組織の中に会をいくつか作り、会毎の会合を多くしてなるべく人の集まる機会が多くなるようにしています。今では、自然発生的に人が集まる機会も増えて、地域の和が深まったと思います。



Q： 活動を行って良かったことはありますか。

A： 地域の和が深まったことです。意見のいいやすい雰囲気もあり、地域の若い人の参加も増えています。様々な構成団体があることで、活動への参加や地域の人と話す機会が増え、地域のまとまりがよくなったことが一番です。（布里田中ホウネンエビを守る会も構成団体の一つ）

Q： 今後の活動の展望などがありましたら教えてください。

A： ホタルの保全活動をして、ホタルのイベントを開催するなど、町外に出た子供達の帰ってくる機会を増やしたり、景観をよくして花の郷を目指すなど、地域の将来を見据え、次世代に素晴らしい環境をつなげられるような活動を続けていきたいと思えます。

【関東農政局 農地整備課 多面的機能支払推進室】

■ 3.「コープみらいフェスタ きやっせ物産展 2020」に出展します! ■

2月23日(日)に幕張メッセで開催される「コープみらいフェスタ きやっせ物産展 2020」に農林水産省多面的機能支払推進室が出展します。「コープみらいフェスタ」では、食育「たべる、たいせつ」をテーマに、コープの商品や産直品の試食や販売、親子で楽しめる体験ブースがあります。

多面的機能支払推進室のブースでは、一般の方向けに本交付金制度がどのように役立っているのかご理解いただくために、パネル展示のほか、「田んぼの生きもの探検 VR」や生きものカードの配布を行います。

また、当室では昨年「多面的機能支払」の愛称を募集し、現在選定を行っています。ブースでは、愛称の候補にシールを貼って投票するコーナーもあり、この結果も愛称決定の参考となります。皆さまの清き一票で、愛称が決定するかもしれません! 皆さまのお越しをお待ちしております。

【開催情報】

▽日時▽2月23日(日) 10:00~15:30

▽場所▽幕張メッセ 国際展示場7・8ホール
(〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目1)
JR京葉線 海浜幕張駅下車 徒歩約5分

▽コープみらいHP▽

https://mirai.coopnet.or.jp/brand/coopmirai_festa/kiyasse/

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■編集後記■

先日、浅草で飴細工体験をしてきました。飴細工は、温めると柔らかく、冷めると固まる飴の性質を利用して、素手と握りバサミ1本を使って作り上げます。

体験では、ウサギを作りました。職人の方の実演を見ているときには「簡単そう」と思っていたのですが、実際にやってみると飴は2、3分で固まってしまうので、想像以上に苦戦しました。

日本の伝統技術である飴細工の繊細さや魅力を再発見した日になりました。



ウサギの飴細工

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html



バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→

◇令和元年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。
どんどんご活用ください！！



高めよう 地域協働の力！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、新谷）

TEL：03-3502-8111（内線5493）